



紅 花栽培は当地の気候風土と合い、江戸時代には全国の生産量の大半を占めました。紅花は、西陣織や化粧用加工される貴重な赤い染料として高く評価され、当地を経済面でも文化面でも大きく発展させました。

山形市 天童市 中山町 河北町 白鷹町

1

紅花畑の 景観



山寺
〔国名勝史跡〕

2

山 寺(宝珠山立石寺)は、慈覚大師円仁が貞観2年(860年)12月、清和天皇の勅許を得て創建した古刹と伝えられています。長年の浸食による奇岩怪石が残る山肌の四季折々の景観は絶景です。紅花栽培に深く関わり、比叡山との縁故から近江商人を惹きつけ、紅花交易の発展を加速させました。元禄2年(1689年)、俳聖松尾芭蕉が弟子の曾良とともに訪れて一泊し、「閑さや岩にしみ入る蟬の声」の名句を「おくのほそ道」に残しています。

山形市



立石寺中堂
〔国重文建造物〕

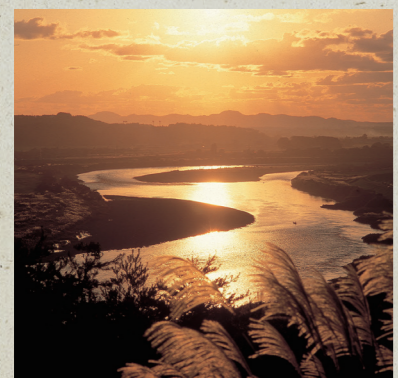
山形市

延 文元年(1356年)、初代山形城主・斯波兼頼が再建した山寺の本堂。ブナ材の建築物では日本最古。紅花交易を地元の商人とともに発展させた近江商人を惹きつけたといわれています。比叡山延暦寺から分灯された「不滅の法灯」を拝することができます。

5

最上川
土を貫き日本海に注ぐ母なる川。流域面積は山形県の面積の約75%にあたり、日本三急流の一つ。最上川の氾濫原と朝霧や朝露が降りやすい気象条件が紅花栽培に適し、沿岸の集落が紅花の主要な産地となりました。紅花は最上川舟運により上方に運ばれました。

寒河江市 天童市 尾花沢市 中山町 河北町 大石田町 白鷹町



6

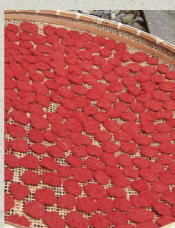
花笠まつり



山形市 天童市 尾花沢市

紅 花に含まれる赤い色素はわずか1%。収穫後によく洗って黄色素を取り除き、丸めて干して乾燥させた紅餅の状態出荷しました。当地産の紅餅は品質の良い高級品で「最上紅花」と呼ばれ、その交易が当地に経済的発展をもたらしました。

山形市 天童市 中山町 河北町 白鷹町



紅餅の 製作技術

和 銅元年(708年)に開山した霊場。平安時代、山寺を開いた慈覚大師(円仁)が御堂を現在の地に移しました。室町時代には最上三十三観音礼所の第一番となり「縁結びの観音様」で有名になりました。現在も、毎年多数の巡礼者が訪れています。

天童市



若松寺観音堂
〔国重文建造物〕

江 戸時代に「最上紅花」の名で知られた山形の特産品紅花の栽培から収穫、紅餅に加工する作業や上方へ運び取引の様子を描いた屏風。出羽国村山郡六田村(現東根市)生まれの青山水耕筆。山形市の山寺芭蕉記念館所蔵。

山形市



紅花屏風
〔県指定・絵画〕

威 勢のいい掛け声と花笠太鼓の勇壮な音色の中、山車を先頭に、あでやかな衣装の踊り手が花笠を手に華麗な群舞を繰り広げる山形の夏まつり。花笠は、紅餅をむしろに広げて干す様子を表しており、踊り手が練り歩くさまは一面の紅花畑が広がる光景を再現しています。

11

江 戸時代に当地で盛んに行われていた紅花の収穫と紅餅づくり、紅花染めなどが体験できる初夏のまつり。映画「おもひでぼろぼろ」の舞台となった山形市高瀬地区をはじめ、中山町旧柏倉九左衛門家周辺、天童市上貫津地区、河北町紅花資料館などで毎年7月上旬に行われます。

山形市 天童市

中山町 河北町

白鷹町

12



亀綾織絹地鶴亀松竹梅福寿模様
藍墨下紅曙染女中裁祝着
〔町指定有形民俗〕

河北町

紅 花は上方に運ばれたのちに西陣織などの染料となりました。上方との交易によってもたらされた紅花染め衣装が当地には数多く残っています。本品は新庄藩特産の亀綾織で腰下を紅花染めにし、鶴亀と松竹梅模様が手描きで描かれた祝いで着す。

河北町

眉 掃きを佛にして紅粉の花。江戸時代山寺参詣の途中、紅花畑を目にした芭蕉が紅花を題材に句を詠んだという場所に句碑があります。紅花の花は女性が化粧で使う刷毛(はけ)の形にも似ています。

天童市

18



芭蕉の 句碑

芭蕉、清風
歴史資料館
(旧丸屋鈴木家住宅)

尾花沢市

紅花染め衣装



上 方との交易によってもたらされた衣装の一つです。上等な揚柳織という麻布を紅花染めした大振り袖です。白地の裾を紅と紫で明け方の空のようなぼかし染めにし、籬、牡丹、桜などが手描きで描かれています。

河北町

14



15

元 禄年間に製作された衣服として年代がはっきりしている貴重な資料です。美しい紅花染めの世界を素地にして、金糸銀糸による刺繍で盛り上げて立体感を構成する模様図は実に豪華絢爛たるものがあります。

山辺町



縮緬紅花染振袖A
〔町指定工芸品〕

山辺町

縮 緬地を紅花染めにして基調とし、縁起物の鶴と亀が金糸・銀糸で刺繍して配置され、両者が巧みに絡み合っ見事な立体感を出しています。

山辺町

16



江 戸時代、紅花商人(豪商)として活躍した長谷川家の屋敷。通りに面し、門を構え、店蔵、座敷蔵が残っています。旬菜旬食をテーマとした山形の魅力ある食の発信、イベント開催、観光情報の提供などを行う複合施設です。

山形市

19



**紅の蔵及び
収蔵資料**
(旧長谷川家)

江 戸時代、紅花商人(豪農)として活躍した堀米家の屋敷。長屋門を構え、堀と塀を設けて敷地を囲んでおり、座敷蔵、御朱印蔵、母屋、武者蔵、そして雛人形や紅花染め衣装など貴重な品々が残っています。敷地内には紅花畑もあり、7月上旬に紅花が咲き誇ります。

河北町

21



**紅花資料館及び
収蔵資料**
(旧堀米家)

江 戸時代、紅花商人(豪商)として活躍した鈴木清風を紹介する資料館。江戸時代の創建で、土蔵造りの「みせ」には、防火扉の部戸(しとみど)をつけており、母屋は雪国に特有な通り土間を設けた中門造りになっています。俳人でもあった清風に山寺参詣を勧められた芭蕉はその道中、紅花畑や山寺で名句を残しました。

20